



一般社団法人 電波産業会
Association of Radio
Industries and Businesses

No.859 2012年11月19日

ARIBからのお知らせ

第86回規格会議開催のお知らせ

第86回規格会議の開催について下記のとおりお知らせいたします。
規格会議委員の皆様のご出席をお願いいたします。

記

- 1 日時 平成24年12月18日(火) 午後2時から4時まで
- 2 場所 東海大学校友会館 阿蘇の間 (霞が関ビル35階)
東京都千代田区霞が関3-2-5
- 3 議案
 - (1) 狭域通信(DSRC)基本アプリケーションインタフェース標準規格の策定について
 - (2) 79GHz帯高分解能レーダー標準規格の策定について
 - (3) 携帯型無線端末の比吸収率測定法標準規格の改定について
 - (4) IMT-2000 DS-CDMA and TDD-CDMA System ARIB STANDARD / ARIB Technical Report の改定について
 - (5) IMT-2000 MC-CDMA System ARIB STANDARD / ARIB Technical Report の改定について
 - (6) 第二世代小電力データ通信システム/ワイヤレス LAN システム標準規格の改定について
 - (7) 800MHz帯デジタルMCAシステム標準規格の改定について
 - (8) OFDMA / TDMA TDD Broadband Wireless Access System (Next Generation PHS) ARIB STANDARD の改定について
 - (9) デジタル簡易無線局の無線設備標準規格の改定について
 - (10) 時分割多元接続方式広帯域デジタルコードレス電話の無線局の無線設備標準規格の改定について
 - (11) LTE-Advanced System ARIB STANDARD の改定について
 - (12) WirelessMAN-Advanced System ARIB STANDARD の改定について
 - (13) 700MHz帯高度道路交通システム標準規格の改定について

- (14) 狭域通信(DSRC)基本アプリケーションインタフェース陸上移動局の接続性確認に係る試験項目・試験要領技術資料の策定について
- (15) 700MHz 帯高度道路交通システム陸上移動局の接続性確認に係る試験項目・試験条件技術資料の改定について
- (16) 地域防災無線通信を行う無線局の無線設備標準規格の廃止について
- (17) 800MHz帯(広帯域)MCA陸上移動通信を行う無線局の無線設備標準規格の廃止について
- (18) 1125/60方式HDTVビット直列インタフェースにおける補助データの共通規格標準規格の改定について
- (19) CSデジタル放送用受信装置標準規格(望ましい仕様)の改定について
- (20) 525/60テレビジョン方式のビット直列インタフェースにおける補助信号標準規格の改定について
- (21) 地上デジタルテレビジョン放送の伝送方式標準規格の改定について
- (22) デジタル放送における映像符号化、音声符号化及び多重化方式標準規格の改定について
- (23) セグメント連結伝送方式による地上マルチメディア放送の伝送方式標準規格の改定について
- (24) エリア放送の伝送方式標準規格の改定について
- (25) BS/広帯域CSデジタル放送運用規定技術資料の改定について
- (26) デジタルテレビ放送番組におけるラウドネス運用規定技術資料の改定について
- (27) その他

ARIBの動き

第19回ITS世界会議ウィーン2012が開催される

第19回ITS世界会議ウィーン2012が、10月22日から26日までオーストリアのメッセ・ウィーンで、「よりsmartな移動を目指して」(Smarter on the Way)をテーマに開催され、参加国90か国、参加者数10,000人、会議登録者数3,000人(うち日本:約500人)と、昨年より多くの参加がありました。<写真1>

会議の中心となるES(Executive Sessions)、SIS(Special Interest Sessions)、TS(Technical Sessions)などのセッション数は200件を超え、活発な議論が行われました。総務省田沼企画官、水井係長が参加したES01(Communication technologies)とSIS11(ITS radio communication for vehicle safety)では、当会の研究開発本部ITSグループの小山主任研究員が、セッションのChairmanとModeratorをそれぞれ務め、700MHz帯ITS、79GHz帯高分解能レーダーなど日本のITS技術を紹介し、日本とARIBの取り組みを世界にアピールすることができました。<写真2>

昨年に引き続き、ITS情報通信システム推進会議VSC-TG主査である津川定之先生の働きかけにより、「運転支援通信システム(VSC)会議」を現地で開催しました。欧州からはソーレン・ヘス氏(ETSI)、米国からはシュラドオーバ氏(PATH)、日本からはITS-Japan天野専務理事、内閣官房中島企画官、総務省田沼企画官、国交省奥村室長らが参加し、日米欧のITSキーパーソンによる活発な意見交換が行われました。

また今年も、ARIB及びITS情報通信システム推進会議として、ITS-Japanのご協力により、日本パビリオンにおいてITSの標準化に向けた活動に関するパネルを展示し、700MHz帯ITS標準規格、79GHz帯高分解能レーダーへの取り組み等を世界にアピールすることができました。〈写真3〉

日本メーカーのブースでは、79GHz帯高分解能レーダーについて積極的な展示、紹介が行われ、日本の先行する技術を訴求していました。

地元オーストリアからは、世界有数のDSRCベンダーに成長したKapsch社が、今回のダイヤモンドスポンサーとなって、会場の一等地に巨大なブースを設け、製品等の展示をせず、飲み物の提供に重点を置きつつ、玩具のレゴを用いて同社の存在をさり気なくアピールし、終日賑わっていたのが印象的でした。〈写真4〉

V2X(Vehicle-2-Vehicle/Pedestrian/Infrastructure 他あらゆるものを指す)関連では、実車に同乗し公道を走行するデモが行われていました。日本でも実証実験が行われており、基本性能(技術的)には大差がなく目新しいものではありませんでしたが、警告が表示されるタイミング・表示が極めて違和感なく行われていました。

来年は、いよいよ東京でITS世界会議東京2013が「Open ITS to the NEXT」をスローガンに開催されます。同会議の開催に向けて、当会とITS情報通信システム推進会議の関係者への強い期待を感じました。



〈写真1：会場入口〉



〈写真2：セッションの様子〉



〈写真3：日本パビリオン展示パネル〉



〈写真4：展示会場内の様子〉

第 189 回業務委員会を開催

第 189 回業務委員会を開催しましたので、その概要をお知らせします。

- 1 日時 平成 24 年 11 月 14 日(水) 午後 2 時 00 分から 3 時 30 分まで
- 2 場所 当会第 4 会議室
- 3 議事概要
 - (1) ITS 世界会議の結果について
 - (2) oneM2M の動向について
 - (3) 地域 WiMAX 推進協議会総会及びシンポジウムの結果について
 - (4) CEATEC JAPAN 2012 での ARIB 出展報告について
 - (5) 第 86 回規格会議の開催について
 - (6) ITU-R でのデジタルテレビの研究 40 周年記念式典について
 - (7) その他
 - (8) 近況報告 (業務委員)

編集後記

「小春日和」とは、晩冬から初春にかけての「春のような陽気な気候」を意味すると思っ
ている方はいませんか。

小春は、陰暦 10 月の別称で、太陽暦ではほぼ 11 月から 12 月上旬に相当するまさに今の時
期を指します。その頃の穏やかな好天が小春日和で、日向は暖かいが、日陰はひんやりして
おり、夜は冷え込みます。低気圧が平地に雨、高山に雪を降らせて日本の東に抜けたあと、大陸
から高気圧が張り出して、気圧配置は西高東低型となり冷たい北風が強めに吹くが、翌日は、
大陸高気圧は移動性となり、風は弱まって「小春日和」となる訳です。

外国にも、晩秋から初冬にかけて同様の穏やかな日和があり、アメリカとカナダでは「Indian
summer」(インディアンの夏)、ドイツでは「Altweibersommer」(老婦人の夏)、イギリスで
は「St.Luke's summer」(聖ルカの夏)あるいは「St.Martin's summer」(聖マルティヌスの
夏)、ロシアでは「bab'e leto」(婦人の夏)、中国では「小阳春」(小陽春)などと呼ばれてい
るそうです。

なお、俳句においては「小春日和」・「小春」は冬(陰暦の冬は 10 月～12 月)の季語となり
ます。

(編集子 : bsj)

ARIB

Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 1-4-1 日土地ビル11F
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<http://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp